

発言No. 2

受付No. 10

令和 7 年 8 月 22 日

10 時 44 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 1 番 氏名 肥後 孝俊

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

奇しくも私の任期は「第 2 次浜田市総合振興計画 後期基本計画」の期間と重なり、この計画は「若者が暮らしたいまちづくり」を最重要の柱に据え、人口減少問題に対応すると宣言された。検証を踏まえ、以下質問する。

1. 人口減少対策について

若者定住につながる一手として、市内での雇用が維持できなければならないとの思いで以下質問する。

- ① 若者定住対策の現状について伺う。
- ② 若者定住につながる市内での雇用対策について伺う。

2. 産業振興策について

- ① 浜田港の老朽化した燃料給油船の現状について伺う。
- ② 令和 6 年 3 月定例会議で「指定野菜に 50 年ぶりに追加されたブロッコリーの市内生産量の現状と今後」について伺ったが、その後の生産状況について伺う。

3. 共に生きる社会の実現に向けた地域福祉の推進について

本市には「島根あさひ社会復帰促進センター」という、全国でも先進的な官民協働の施設が存在する。このセンターは、単なる刑事施設ではなく「地域との共生」を基本方針に掲げている。現状を把握するため以下質問する。

- ① 島根あさひ社会復帰促進センターとの現在の連携状況について伺う。
- ② 知的・発達障がい等を抱える人向けの福祉的支援の網から外れる方が再犯につながらないような支援について伺う。